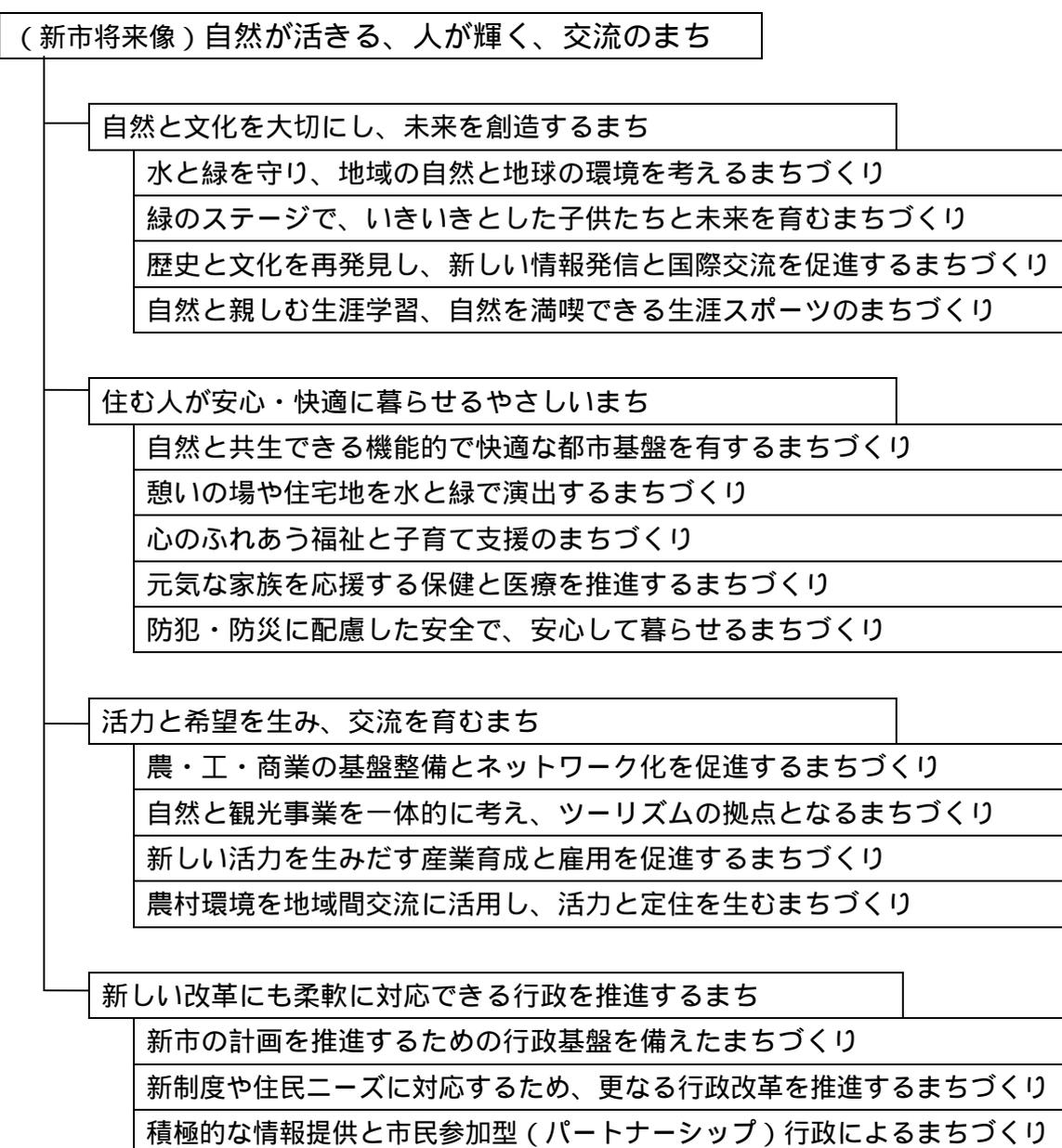


## 新市の主要施策

### 1 新市の施策の基本方針

前章の「まちづくりの基本的理念」に基づき導かれた次の4つの基本的目標別に、新市を建設するための各施策及び事業を展開することにより自然共生型のまちづくりを目指します。



## 2 体系別の整備計画

### (1) 自然と文化を大切にし、未来を創造するまち

水と緑を守り、地域の自然と地球の環境を考えるまちづくり

#### ・地球環境の保全と緑を育てる運動

地域の恵まれた自然を守るとともに、地球にやさしい取組みを進め、各種施策や事業に取り入れていきます。治山事業、海岸保全事業とも連携を図りながら、緑を守る運動や里山の保全を推進することで、次代を担う子どもたちに自然の価値や地域の魅力を伝えていきます。また公害防止対策には万全の体制で臨み、豊かな自然を未来永劫のものとしします。

#### ・循環型社会の確立とエコライフ(16)の推進

市民生活に密着した分野では、リサイクル運動の推進や循環型社会を目指すための施策や制度の充実を図ります。特に新エネルギーの導入、省エネルギー運動への一層の理解・浸透を図るとともに、更なるごみの減量化、再資源化を実現するため地域社会と一体となって取組みを推進します。

地球環境の保全と緑を育てる運動	白砂青松事業*
	海岸侵食対策事業(桃崎浜ほか)*

表中太字表記は県事業を示す

表中\*印の事業は重複掲載事業を示す

緑のステージで、いきいきとした子供たちと未来を育むまちづくり

#### ・学校教育環境の充実

未来を担う子供たちが豊かな自然と緑の中で、生き生きと学べる教育環境を整備します。特に、学校教育施設については地域の実情を加味しながら、適正な管理と整備統合に努めるとともに、教育内容については自然環境や地域性を重視したカリキュラムを積極的に導入し、郷土の明日を担う人材の育成に努めます。

#### ・地域の食材を提供する学校給食

児童・生徒の健やかな育成を願い、安全な地場食材を利用した給食を提供します。安全に提供できるよう、老朽化した施設と設備の近代化と機材の充実を図るために、新たな給食センターの整備を行います。

### 【用語解説】

(16) エコライフ...省エネ、省資源など環境にやさしい生活をおくること。

・明日を担う青少年の健全育成

青少年の健全育成のために、地域と行政、学校の連携強化と組織体制を整えます。またボランティアによる青少年の社会奉仕活動や体験事業プログラムの提供を支援します。

・幼児教育の充実

学校教育と保育事業の連携を図るために、施設の充実と幼児期における独自教育の導入を検討します。特に、国際理解や幼老のふれあい事業など創造性の高い内容を取り入れるとともに、地域の自然や歴史・文化を活用していきます。

学校教育環境の充実	統合小学校整備事業（柴橋・本条地区）
	小中学校大規模改造事業（黒川小学校ほか）*
地域の食材を提供する学校給食	統合学校給食センター建設事業
幼児教育の充実	中条地区保育園・幼稚園統合施設整備事業*

歴史と文化を再発見し、新しい情報発信と国際交流を促進するまちづくり

・郷土の歴史と文化の保存・継承

中世の歴史の拠点であるこの地域が、これまで培ってきた伝統・文化等を再認識し、郷土に誇りを持てるような施策と施設整備に努めます。特に、奥山荘城館遺跡は年次的に調査・整備を進めるとともに、板額御前をテーマにした施設整備を行い、各種の観光事業との連携を図りながら、郷土の歴史的魅力を地域内外に大いにアピールします。また、地域の伝統芸能等を保全するコミュニティの育成と支援を強化します。

・国際交流の推進

豊かな自然や充実した宿泊施設を生かした国際交流を推進し、語学教育はもとより、文化交流の内容の高度化・多様化を図るとともに、この地域の国際文化を醸成するため各種事業との連携を推進します。

・文化芸術活動の創造

週休二日制などの定着により、余暇時間が増加したことに伴い、歴史・文化活動の充実が望まれています。既存施設の活用と広域圏の連携を視野に入れながら、鑑賞機会の提供と文化団体の育成に努め、特色ある芸術文化の創造を推進します。

郷土の歴史と文化の保存・継承	史跡公園整備事業*
	奥山荘城館遺跡整備事業（西本町地内ほか8か所）
	奥山荘ガイドブック作成事業
	戸ノ裏黒川館遺跡調査

自然と親しむ生涯学習、自然を満喫できる生涯スポーツのまちづくり

・生涯学習事業の推進

生涯学習は、自然や歴史といった身近な題材をもとに、多彩なプログラムの提供に努めます。図書館には図書館情報システムを導入し、図書情報の提供や蔵書の管理・貸出業務の効率化を図り、社会教育施設の整備と有効活用を推進しながら市民サービスの向上に努めます。

・生涯スポーツ事業の推進

体力の増進と交流事業を推進するために、スポーツ事業の充実と社会体育施設の整備を図ります。特に、中条地区総合グラウンド周辺の機能充実と黒川地区において体育館の整備を実施するとともに、既存施設を有効に活用しながら、魅力あるスポーツプログラムを構築します。

生涯学習事業の推進	図書館情報システム導入事業*
	村民ホール大規模改造事業*
生涯スポーツ事業の推進	社会体育施設整備事業(黒川地区体育館)
	スポーツ施設整備事業(多目的広場照明施設)

(2) 住む人が安心・快適に暮らせるやさしいまち

自然と共生できる機能的で快適な都市基盤を有するまちづくり

・新市機能を発揮させる道路網整備

新市における地域間の交流や両地域の速やかな一体性を確立するため、道路網の整備を推進します。特に、一般国道7号及び113号とともに、広域的ネットワークを形成する観点から国道290号及び主要地方道、一般県道の整備を要望していきます。また、市街地の機能を高める街路や公共施設へのアクセス、地域間道路などを優先的、重点的に整備するとともに、観光や物流に資する路線を整備し、産業経済面での効果も発揮できるようにします。

・快適生活をサポートする道路管理

地域間の不均衡が生じないように生活関連道路の維持管理に努めます。交通安全施設、側溝等の整備を計画的に実施するとともに、冬期間の生活路線を確保するため消雪施設の設置や除雪体制に万全を期します。

・居住地域の環境整備

居住地域の快適性と地域環境の向上を図るため、下水道の整備をはじめ地域の状況に合わせた生活排水対策を継続的に実施します。また雨水対策については、降雨時の湛水地域をなくすため排水施設の整備を行うとともに、上水道・簡易水道事業については拡張・整備計画を策定し、地域の均衡化に努めます。

・公共交通網の利便性向上

J R 中条駅前には交通対策及び環境対策の一環として、パークアンドライド方式（ 17）の駐車場を整備して、公共交通機関の活用を促進します。また、J R 中条駅周辺は朝夕のラッシュ時に慢性的な交通渋滞を生み出していることから、利用者の利便性の確保と交通緩和を図るため、駅西口の整備を推進します。

・情報通信基盤の整備

各公共施設にインターネット利用が可能なパソコンを設置するとともに、行政情報やサービスの円滑な提供を行うため、各家庭のインターネット普及を誘導します。

新市機能を発揮させる道路網整備	街路整備事業（本町通り線ほか）*
	街路事業（中条駅前通り線）
	道路整備事業（村道下江端大川原線改良事業ほか）
	道路整備事業（一般県道荒井浜黒川線ほか）
快適生活をサポートする道路管理	消雪パイプ整備事業（中条・胎内線ほか）
	歩道整備事業（近江新地区ほか）*
	歩道整備事業（国道290号ほか）*
	除雪車整備事業
居住地域の環境整備	排水路改良事業（高野地区）
	雨水対策事業（若松町・二葉町地区）*
	公共下水道事業
	農業集落排水事業
	上水道拡張事業
	広域基幹河川改修事業（胎内川ほか）*
	河川総合開発事業（奥胎内ダム）*
公共交通網の利便性向上	中条駅前広場整備事業
	中条駅前自動車駐車場整備事業
	中条駅西口整備事業

【用語解説】

（ 17）パークアンドライド方式...交通混雑を緩和するため、自動車を都市郊外の駐車場に止めて鉄道等により換え、都心部あるいは特定地域に入る方式。

憩いの場や住宅地を水と緑で演出するまちづくり

・緑の居住空間整備

新市の定住促進を図るためにも、区画整理事業や上下水道等の各種インフラの整備を実施することはもとより、住む人が潤いを感じる住宅地の開発を推進します。今後の住宅地の開発については、緑地の配置や周辺環境に配慮します。

・水辺や山麓に憩いの場の整備

自然豊かな土地柄を生かして、市民憩いの場を整備していきます。特に胎内川のリバーサイドパークのエリアを順次拡大し、安心して水に親しめる場を整備するとともに、住宅地に比較的近い櫛形・蔵王の山麓を活用し、里山の保全や史跡整備と連携した公園整備に努めます。

・居住の安定を図る公営住宅整備

年次計画的に公営住宅の建設・改築を行うことで、居住の安定を図り誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

緑の居住空間整備	坊城土地区画整備事業
水辺や山麓に憩いの場の整備	胎内川リバーサイドパーク整備事業
	史跡公園整備事業*
	櫛形山脈登山道整備事業*
居住の安定を図る公営住宅整備	公営住宅等建設・改築事業（鳥坂団地ほか）
	特定公共賃貸住宅建設事業

心のふれあう福祉と子育て支援のまちづくり

・福祉関連の環境整備

高齢者や障害のある方が積極的な社会参加できるように、バリアフリー（18）を考慮した環境整備に努めます。また医療機関や民間事業所、地域との連携を図りながら、介護・福祉サービスの充実、高齢者の生きがい対策と健康づくりなどのソフト事業の充実とともに、それに合わせて福祉センターや介護支援センターの整備と機能拡充を図ります。

・子育て支援事業の推進

少子化傾向が進む中、安心して子育てができるように、若い夫婦に対する支援制度と保育園施設の整備を実施します。特に、保育サービスの拡充に重点を置いた良質なサービスの提供に努めます。

【用語解説】

（18）バリアフリー…高齢者や障害者等を含むすべての人にとって日常生活や社会生活を営むうえで存在するあらゆる分野の障壁や障害物（バリア）を除去すること。

・地域福祉ネットワークの構築

地域福祉計画を策定する中において、社会福祉協議会はもとより、地域コミュニティ（ 19）、ボランティア、NPO（ 20）と行政との連携による公私協働の推進体制を確立し、高齢者等の要介護者情報を共有するなどしながら、的確なニーズの把握と効果的な福祉サービスを供給できる体制を整備します。

福祉関連の環境整備	こころとことばの相談室施設整備事業
	黒川地区総合福祉センター（仮称）整備事業*
子育て支援事業の推進	中条地区保育園・幼稚園統合施設整備事業*
	黒川保育園増改築事業

元気な家族を応援する保健と医療を推進するまちづくり

・健康づくり事業の推進

「ほっとHOT・中条」の設置目標でもある「健康づくりは、人づくり」という理念を新市に引継ぐこととし、黒川地区においても健康づくり事業ができるよう施設・機構の整備を行います。また母性、乳幼児、精神、老人の各保健事業については、地区組織の支援体制の充実を図るとともに、福祉事業との連携を行い、新市の新しい保健スタイルの確立を目指します。

・各種健診制度の充実

三大生活習慣病の予防と早期発見・早期治療を目的に各種健診事業の充実と健康相談、訪問相談の積極的な実施を推進します。また健康意識の高まる市民のニーズを把握するとともに、疾病の地域傾向を分析するなど、的確かつ有効的なモニタリング（ 21）機能の整備充実を図ります。

・医療機関との連携

健康づくり事業を推進するためにも、医療機関との連携を更に強めるとともに、へき地診療所の継続運営と医師、看護師、保健師等医療関係者の確保に努めます。特に、耳鼻咽喉科の誘致・医師確保に努めます。

健康づくり事業の推進	黒川地区総合福祉センター（仮称）整備事業*
	健康スポーツプラザ改修事業

【用語解説】

- （ 19）地域コミュニティ...地域社会、地域共同体。地域の住民が、地域のための行動を行う集団。
- （ 20）NPO...非営利組織。政府や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体。
- （ 21）モニタリング...監視・観察の意。日常的・継続的な点検のこと。

防犯・防災に配慮した安全で、安心して暮らせるまちづくり

・防災対策

「羽越水害」を教訓にして、災害発生時の緊急対応に万全を期するために、あらゆる災害に対応した防災計画に反映させます。特に防災行政無線による地域防災情報システムを導入するとともに、消防団の組織強化と消防・防災施設の整備を推進します。また、海岸や胎内川などの中小河川については、国・県と連携して、海岸侵食対策、奥胎内ダムの早期完成のほか、治山・治水、砂防施設の整備推進を図るとともに、公共施設については耐震性を向上させるための改修を行います。

・防犯対策

こどもや高齢者を巻き込んだ犯罪を未然に防ぐため、警察・教育機関と連携して、防犯啓発活動を実施します。また、地域全域を対象として、通学路や危険箇所を中心に防犯灯を設置します。

・交通安全対策

高速道路網の整備により、現在よりも交通量が増加することが予測されることから、移動制約者の安全を確保するため施設整備と交通安全意識の高揚に努めます。

防災対策	防災行政無線設置事業
	雨水対策事業（若松町・二葉町地区）*
	小中学校大規模改造事業（黒川小学校ほか）*
	海岸侵食対策事業（桃崎浜ほか）*
	砂防事業（養老沢ほか）
	雪崩対策事業（下赤谷ほか）
	広域基幹河川改修事業（胎内川ほか）*
河川総合開発事業（奥胎内ダム）*	
防犯対策	防犯灯設置事業（全域）
交通安全対策	歩道整備事業（近江新地区ほか）*
	歩道整備事業（国道290号ほか）*

（3）活力と希望を生み、交流を育むまち

農・工・商業の基盤整備とネットワーク化を促進するまちづくり

・農業基盤の整備

農業基盤整備及び農村環境整備については、新市においても継続的に実施していきます。今後の地域の農業スタイルとしては、特産品の開発やブランド化を進め、後継者の育成と農業経営体を強化し、他産業との連携を積極的に模索するとともに、産地間競争への対応や地産地消を視野に入れながら、安定した農業経営の基盤を整

備します。

・工場誘致の推進

中核工業団地への進出企業が僅少であることから、引き続き雇用機会の拡大を図るために、中小企業基盤整備機構・県と連携をしながら先端産業・研究機関を中心に工場誘致活動を展開するとともに、進出事業所と地場産業との連携や、付加価値のある製品・加工品の開発を奨励します。

・機能的な商業スペースの確保

国道沿線の大型店と既存商店街の連携を図る意味から、商業地の基盤整備を実施し、周回する買物客の利便を図るとともに、観光産業とタイアップしたPRスペースの確保を検討します。

農業基盤の整備	農業農村整備事業（築地新地区）
	県営かんがい排水事業（胎内川沿岸地区）
	県営湛水防除事業（落堀川地区ほか）
	県営経営体育成基盤整備事業（築地地区ほか）
	県営農道整備事業（広域農道下越中部地区ほか）
機能的な商業スペースの確保	街路整備事業（本町通り線ほか）*

自然と観光事業を一体的に考え、ツーリズムの拠点となるまちづくり

・観光の拠点化の推進

胎内スキー場や胎内渓谷を中心とした胎内観光ゾーンと、村松浜海水浴場や長池公園を中心とした白砂青松ゾーンの連携を図りながら、地域内外からの集客を促進するため既存の観光施設の活用と重点的な施設整備を行い、通年リゾート地として全国的にアピールしていきます。併せて、観光協会等の各種団体との連携を強化するとともに、専門の担当部署を設置し、地図情報などあらゆるメディアを活用し、地域の持つ魅力を内外へ情報発信します。

・イベントによる集客

四季を通じて見どころも多い地域であることから、地域の自然や特産物、人材等の資源を大いに活用しながら、独自のイベントを集客施策として展開します。また、各種シンポジウムなどの会議を積極的に誘致し、開催にこぎつけることにより、宿泊施設等の活用や地域のPRを図ります。

・グリーンツーリズム関連事業の推進

滞在型、体験型観光が脚光を浴びる中、豊かな自然と奥山荘城館遺跡や板額御前などの歴史的魅力を観光メニューに取り入れ、ツーリズム志向に対応します。また、フルーツパークを中心とした観光と農業の一体化による関連事業を推進し、地域産業の育成と活性化を図ります。

観光の拠点化の推進	白砂青松事業 *
	胎内昆虫の家改修事業
	地図情報電算化事業 *
グリーンツーリズム関連事業の推進	新山村振興等農林漁業特別対策事業(農産物加工施設) *
	櫛形山脈登山道整備事業 *

新しい活力を生み出す産業育成と雇用を促進するまちづくり

・工業誘致の推進(前述)

・観光事業との連携

観光は新市の一大産業になり得ることから、観光と農業が一体となった観光農園や特産品の開発を促進することで、地域の総体的な活性化を図ります。またインストラクター(22)や技術員の配置、施設運営、イベント企画などを民間企業に委託することにより、効率的な事業運営に努めるとともに潜在的な地域資源の掘りおこしを検討します。

・新産業の育成・支援

雇用を促進するための企業誘致を図る一方、起業家やコミュニティビジネス(23)を支援する制度、職業訓練事業を推進することにより新産業を育成・支援し、雇用の創出を図ります。

観光事業との連携	新山村振興等農林漁業特別対策事業(農産物加工施設) *
新産業の育成・支援	地域産業活性化計画策定事業

農村環境を地域間交流に活用し、活力と定住を生むまちづくり

・農村交流による活性化

山間部地域の離農に伴う休耕地や空家を活用した滞在型の農村体験制度を創設し、併せて就農者への支援や地域間交流を促進することにより、地域住民の生きがい対策や定住促進に結び付けます。

#### 【用語解説】

(22) インストラクター...教師。指導員。専任講師。

(23) コミュニティビジネス...住民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決すること。

・人材育成

農山村部の活性化を図るため、農業士、社会教育主事、ネイチャーガイド、インストラクター等コミュニティリーダー( 24)を養成し、地域間交流を促進します。また、空家をインキュベーター( 25)施設として起業家に提供する制度により、定住促進とコミュニティの活性化を図ります。

農村交流による活性化	滞在型農村体験制度設立事業
人材育成	ネイチャーガイド養成事業

( 4 ) 新しい改革にも柔軟に対応できる行政を推進するまち

新市の計画を推進するための行政基盤を備えたまちづくり

・新市建設計画に対応した組織の構築

新市発足に伴う、行政運営をスムーズに行い、市域全体に均等かつ良質な行政サービスを提供するため、組織の編成や必要な公共施設の整備・改修を行います。特に新市建設計画を円滑に遂行するため、環境保全、少子高齢化、防災、都市計画、産業の活性化などの部門では、専門職の採用・育成を検討します。また、省エネルギーやリサイクルの促進、グリーン購入( 26)などの取組みを行政自らが率先して行います。

・黒川支所の設置

合併に伴い、住民サービスの低下を招かないように、黒川地区に支所を設置します。支所には、総合的窓口機能を設けるとともに、住民からの苦情・相談にも対応できる体制を整え、均衡あるサービスと親しみやすい行政を進めます。

・コミュニティ組織の育成

合併による住民不安を解消し、地域の連携、市域の一体化と均衡化を促進するため、行政区( 区長)の位置付けを明確にし、旧町村内の連合会組織や各集落・自治会単位のコミュニティ活動を支援していきます。また、これらのコミュニティが、保健・福祉部門、地域活性化部門の活動にも積極的に参画できるよう環境を整備します。

【用語解説】

- ( 24) コミュニティリーダー...地域社会づくりに大きな役割を担う地域リーダー。
- ( 25) インキュベーター...研究開発型の中小企業に自治体を中心となって、研究施設・機器・資金などの援助を行い、新たな産業創出の場と機会を与える方式。
- ( 26) グリーン購入...製品やサービスを購入する際、必要性を十分に考慮し、価格や品質、利便性、デザインだけでなく環境のことを考え、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入すること。

新市建設計画に対応した組織の構築	本庁舎（中条町役場）改築事業
	支所（黒川村役場）改築事業
	村民ホール大規模改造事業*
	行政ネットワーク構築事業
	本庁舎分室等整備事業

新制度や住民ニーズに対応するため、更なる行政改革を推進するまちづくり

・更なる行政改革の推進

今後も進められる地方分権や、三位一体改革に伴う、財源移譲や構造改革特区などの行政改革に柔軟に対応できる人材育成と組織体制を構築します。また、行政評価システムを導入し、事業の「費用対効果」を客観的に示すことにより、健全な行政運営を行います。行革推進を確固なものにするため専門の部署を設置します。

・合理化と迅速化の推進

行政サービスの合理化と迅速化を図るために各種の情報処理システムの導入を推進します。

・民間活力の導入

既存施設については新市移行後に、全体の活用整備計画を策定することに併せて各施設ごとに整理統合や公社化、指定管理者制度の導入、外部委託など、民間活力の活用を視野に入れた検討を行います。また、各種事業の推進・運営についても、NPOやボランティアとの連携を進めます。

・窓口対応と職員研修の実施

職員の資質の向上と専門的な知識の習得を図るため、職員研修を強化・充実します。特に窓口対応については新市にふさわしく、親しまれる行政を目指すため、広く市民の意見を研修プログラムに反映させていきます。

合理化と迅速化の推進	図書館情報システム導入事業*
	地図情報電算化事業*
	家屋評価システム事業
	生活保護システム事業

積極的な情報提供と市民参加型（パートナーシップ）行政によるまちづくり

・広報広聴機能の充実

市民と行政との情報交換を円滑に実施するため、広報広聴制度の充実を図るために、インターネットのホームページを利用した情報公開や意見聴取など、限りなく双方向に近い情報交換を実現します。また、将来的には自宅でも各種行政サービスの提供が受けられるような環境整備の検討を進めていきます。

- ・市民参加型行政の推進

市民に信頼される行政運営や、市民自らが積極的にまちづくりに参画することを目指して、各種の審議会・委員会等の附属機関委員への一般市民の登用を促進します。また、各種施策の計画策定時においても、各分野や地域を熟知したコミュニティ、NPOと連携し、多くの意見を反映できる環境を整えます。

